日伯新聞
伯國聖市マエストロ・カルヂン街一六九（ヴエルゲイロ街一五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年冊ミル
外國郵稅共百ミル

Sr. Kobayashi R. Galvão 84

NEMO ネモ 化粧品

徹底的大勝利敵の死體累々

山西制覇近し

皇軍沙塵を捲いて突撃 太原目指し敵一路潰走 難關忻口鎭も遂に征服

（天津三日同盟）三日拂曉忻口鎭の大難關を見事征服した我軍は續いて忻縣に進入、敗走の敵に猛攻撃を浴せつゝある、敵は一路太原を目指して潰走を續けてゐる、我山西作戰軍は二日東部戰線に於て壽陽を拔き同方面の勝利を決定的たらしめ、更に北部戰線の忻口鎭を潰滅せしめて敵の山西作戰を全般的に覆滅し去つた感あり、今や抗日北支共產軍の據地たる山西省制覇の偉業も山西山岳地帶に兵馬を進めて一目にして皇軍の頭上に燦として輝かんとするに至つた

【北京三日同盟】三日午前十時十分軍報道部發表
一、太原に對し北方より南下攻撃中の我が部隊は强行に次ぐ强行中のところ、二日夜和田工兵部隊の決死的爆破作業と間髪を入れぬ肉彈戰により、三日午前零時忻口鎭一帶の陣地を占領せり
二、敵は全線に亘り退却を開始し南方に潰走中、我が軍は目下これを追撃中なり、前線戰場は死屍累々多數の武器彈藥散亂して敵の死傷は約三萬と推定される

—保定へ驀進のわが騎兵—

空の挺身隊 猛鷙の活躍

【山西省平地泉三日同盟】我が空の挺身隊は三日午前五時一に向け潰走する敵を襲撃し、一壊滅的打撃を加へ猛鷙の如き地上部隊と協力して太原方面一果敢なる爆撃を決行して敵に一活躍を續けてゐる

明治節の佳日期し 俄然總攻撃を開始 工兵決死隊、敵陣を爆破

【山西省平地泉三日同盟】太原を續る同蒲線方面の我が軍は明治節の三日未明を期して俄然總攻撃を起した、砲撃は十五萬に對し我が軍は三日未明より俄然猛烈な總攻撃を開始したが、これより遡二日午後十一時より和田工兵部隊は

【山西省平地泉三日同盟】忻口鎭附近の天險に據つて頑强砂塵を捲いて突撃又突撃、敵は早くも算を亂し潰れ立つた

【山西省平地泉三日同盟】忻口鎭附近の天險に據つて頑强なる抵抗を持續してゐた敵約十五萬に對し我が軍は三日未明より俄然猛烈な總攻撃を開始したが、これより遡二日午後十一時より和田工兵部隊は決死隊を組織して敵陣爆破を決行すると同時に全線に亘り一齊に總攻撃を開始した、敵は最後の抵抗を試みるべく手榴彈、機銃、小銃の亂射を浴せ我が軍の突入を阻止せんとしたが、第一線部隊は勇躍敵陣地突撃壯烈な肉彈戰を全線に亘り展開した、雄壇の如く幾重にも重なつてゐる敵陣地を片つ端から肉彈をもつて占領し明治節の佳き日たる三日午前零時全線八里强に亘り幅一里に及ぶ天然の要害たる忻口鎭附近の敵陣地を占領し忻口山頂高く日章旗を輝かした江灣を衝きて敵の第一線陣地を爆撃之がため上海の空は火

所持金の多過ぎる 將兵は銃殺に處す

蔣介石、軍規振肅を嚴命

【天津三日同盟】敗戰に亞ぐ敗戰發見された書類によると蔣介石の訓令内容は次のようなもので判明、支那軍士氣の頽振りを如實に反映するものと興味がある

一、中華民國非常の秋に當る軍人たるものは力を盡くして敵を斃すを念願に置き、利を見て義を忘れるが如きことあるべきに非ず、然るに將兵にて財物を得んとなし機に乘じて騷擾し保國安民の趣旨に反するのみならず前途に悪影響を及ぼさむるものあるは頗る遺憾なり、兩今各將兵の所持金額は佐官は百五十元、以下尉官は五十元、下士官兵は十元以下としもし前記以上の額を有するものあれば發見次第直に銃殺する

暴行掠奪公然横行

【天津三日同盟】支那軍の士氣は全く沮喪して公然と行はれてゐる有様である、これがため將介石は最近全軍に對し士氣振起の訓令を發揮したもので、この戰鬪に於ける敵の損害は三萬に及び由西軍は再起不能に陷つたものと見られる

空襲に備へ 地下避難所設置

【香港二日同盟】我が海軍飛行隊〇機は一日午前七時江門上空を過ぎて敵の要地に爆撃を加へた、我が空襲に恐怖を感じた廣九、粵漢兩鐵道當局は線路の傍に「コンクリートの地下避難所を設置するに決し廣九には六個を粵漢線には三十個所を造るに決した

全市包圍刻々迫り 支那軍、俄然大狼狽

第三國に南市救濟方泣付く

【上海二日同盟】支那軍が上海防備の重點と恃んだ蘇州河南岸の堅壘も皇軍の前に脆くも崩れ上海全市が我が軍の包圍下に陷ることは最早時間の問題となり支那軍に狼狽の色濃きものが覗はれる

殊に南市が我が軍の包圍下に置かれることは軍事、政治共に致命な打撃を招來する結果となるので、早くも支那側は南市、浦東の局部的中立案を列國を介し提示すべく極秘裡に外國側に對して斡旋運動に狂奔してゐるといはれる

該案は去る八月現地英、米、佛司令官より我が方に提示せられた浦東及び南支より支那軍の軍事施設撤廢を條件に日本軍の軍事行動が該地域一部に於て中止せられた申出を更に擴大するものである

【上海二日同盟】支那軍は上海防備の重點と恃んだ蘇州河南岸の堅壘も皇軍の前に脆くも崩れ上海全市が我が軍の包圍下に陷ることは最早時間の問題となり支那軍に狼狽の色濃きものが覗はれる

殊に南市が我が軍の包圍下に置かれることは軍事、政治共に致命な打撃を招來する結果となるので、早くも支那側は南市、浦東の局部的中立案を列國を介し提示すべく極秘裡に外國側に對して斡旋運動に狂奔してゐるといはれる

該案は去る八月現地英、米、佛司令官より我が方に提示せられた浦東及び南支より支那軍の軍事施設撤廢を條件に日本軍の軍事行動が該地域一部に於て中止せられた申出を更に擴大するものである

道理午前十時發表
一、海軍航空隊は陸軍主力の進撃に協力し昨朝來密雲を冒し敵陣地爆撃を決行せる他南翔附近に於て活動中の敵高角砲、高射機銃陣地五ケ所及び蘇州驛並に章堰蘇

編隊鮮かに亂舞 上海の空、黑煙濠々

屋上に黑山の見物人

【上海二日同盟】本日海軍航空隊野中中尉指揮の精鋭〇〇機は蘇州河南岸リンコルン路南方の敵密集部隊及トーチカ陣地に巨彈を浴せ又陸軍機も江灣を衝きて敵の第一線陣地を爆撃之がため上海の空は火炎に眞暗となし、編隊も鮮かに自由に亂舞し、敵頭上に投下する巨彈の爆音に市内の建物を搖り動かして租界内各屋上ベランダは見物人で一杯である

【上海三日同盟】第三艦隊報

第二陣に新手增援 敵必死の防戰振り

蔣介石自ら軍事會議を開催

【上海二日同盟】支那側情報によれば北部戰線の總敗退に當時蔣介石は先月廿七日蘇州で軍事會議を開催、前後策として嘉定、南翔、蘇州河を連絡する第二陣地に新手部隊を增援し退却部隊を收容し前線部隊に新陣地を死守すべき旨嚴命した

【上海三日同盟】南市方面の撤退を承認したものである、尙支那軍撤退後の南市の治安維持は自警團を當らしめてゐるが既に隨所に小規模の掠奪が開始されてゐるので同方面の治安維持は困難と見られてゐる

我爆撃に恐をなし 南市の敵撤退

【上海三日同盟】南市方面の支那軍並に保安隊は二日中に撤退し西南方の龍華方面に集結中なることが確實となつたこれは南市に對する日本軍の爆撃を回避するためと隣接區ねる

非戰鬪區設置に 我方寬容の態度

各國人間に好評博す

【上海一日】上海佛國居留民の名士たるカトリック教會の

奇怪、敵は何者？ 英軍トーチカ構築

我方の抗議に忽ち撤去

【上海一日同盟】北停車場の南側の租界警備線の英國駐屯軍は廿七日我が陸戰隊の攻撃占領と同時に從來に見ざる强固なトーチカ陣地を彼かに構築しはじめ、何者にか備へるが如き態度に出で我が方をして頗る不快な感を抱かしめた

元來英國兵の租界警備は支那敗殘兵の租界通入を防ぐことにあり拘らず、日本軍が前面に現れるや據に右の如き行動に出たことはその意圖頗る不可解とされてゐた

右に關し我が海軍當局では英國側に右トーチカの撤回方を要求、折衝の結果英國側も漸くこれを諒解し本日その撤去を完了するに至つた

敗戰軍隊の特徵 非人道行爲の續出

【天津二日同盟】支那軍は敗戰軍隊の特徵として最も非人道的な行爲をなしつゝあるが北支戰線前線の〇〇部隊長より當地に達した情報によつて明に語られてゐる、即ち

一、ダム〳〵彈の使用＝十月廿一日井堰の支那兵に於て多數のダム〳〵彈を押收、同廿九日徐州に於て鹵獲品中より同ダム〳〵彈多數を發見した

二、野戰病院の襲撃＝十月九日午前二時孟母村の我が野戰病院に對して支那機はこれに爆撃し、我が傷病兵及び非戰鬪員に對し無殘なる行爲を加へた

三、井水に毒物を投ず＝十月廿二日井堰平野内の井戶水を飲んだ軍馬一頭は直に斃死し、某兵は該水のため激烈なる嘔吐をなした事實がある、右は去る八月廿五日井堰に於ける敵の投降兵の告白した「退却に際しては必ず井水に毒物を混入すべしとの命を受けた」といふ事實を裏書きするものである

四、婦女子への暴行及び所持品掠奪＝多數の實例あり

五、赤化思想の宣傳＝石家莊附近の戰鬪後日本語の赤化思想宣傳ビラを戰場各所に結付してゐる

六、山西戰線にては婦女子を强制的に拉致して便衣隊員或ひは最前線に驅使した

七、日本國旗の濫用＝各所に於て牧畜に遑なし

八、自國良民の虐待＝易縣、東縣、邯鄲、曲陽等に於て支那軍は同地方の資産家を必ず拉致しその人質金を要求した、一般良民は物資を掠奪され、軍役に酷使しては勞銀を不拂、反抗するものは銃殺に處するため良民は戰々兢々としてゐた

中野正剛氏を 獨伊に特派

【東京三日同盟】日獨防共協定强化同志會主催の協定强化後援大會は三日正午より日比谷公會堂で開かれ盛會裡に午后四時散會したが、席上司會者代表頭山滿、三宅雄二郎、德富猪一郎三氏の發起で渡獨する中野正剛氏を特に獨伊兩國に派遣することに決定した

日本みやげ

三浦生（31）

私はブラジルへ歸つて來て二年振りにレストラントで飯を喰つた時、ブラジルの一皿は優に東京、大阪の四人分あるのを認めた、そして太原方面に急追中

損害三万 敵再起不能

【山西省平地泉三日同盟】攻撃又攻撃と寡兵よく衆を制した忻口鎭攻撃戰は我が軍の不撓不屈の攻撃精神を遺憾なく發揮したもので、この戰鬪に於ける敵の損害は三萬に及び由西軍は再起不能に陷つたものと見られる

空襲に備へ 地下避難所設置

【香港二日同盟】我が海軍飛行隊〇機は一日午前七時江門上空を過ぎて敵の要地に爆撃を加へた、我が空襲に恐怖を感じた廣九、粵漢兩鐵道當局は線路の傍にコンクリートの地下避難所を設置するに決し廣九には六個を粵漢線には三十個所を造るに決した

食糧豊富の日本の農村

國である かゝる大食するのは野蠻人だなどと云ふかも知れないが、命は食にあり、喰へない様では話にならない、個人としても國民としても大いに喰つて大いに働けるのでなくては何にブラジルが

では想像も及ばない、此の人たち日本に歸ると差當りデパートの食べ物なんぞは一人で三人前平げるし、思ふが、それにかなぐり捨く奴が大抵米の飯と味噌汁だけで育つた奴だから始末が悪い、ブラジルの奥地で邦人農家がボルコでガリニヤだサントスのベイシだと、ふんだんに鰕を喰つてる贅澤極まる生活なんざあ

ブラジルの事

今ではどれもこれも似たり寄つたりの不味い物になつてしまつた、汽車の食堂でも不味いことおびただしい、それにも拘らず日本へ行つて喰つても旨い物を喰はしたらどうかと思ふがそれでは引合はないそうだ

汽車の食事も相當不味いものだが、それでも量がウンとあつて中年者にや喰び切れない、何しろ食ひ物の一番澤山ある國から最も世智辛い國へ歸つていつての話だから食物に關する限り極端から極端だ比較するのは無理かも知れないそれにも拘らず日本へ行つたら何が一番旨かつたかと聞かれる、かと思ふと先頃日本から來た新米がレストラントにつれて行かれ、バンは一つ以上喰べてもいゝんですかと聞いた奴があるどちらもどちらだ

× ×

を指定したが、我方のこの誠意ある人道的態度は內外人に絶大なる稱讃を博しつゝある

取極によれば同區域の避難民整理のため佛國三、英國一、米國一よりなる南市避難民救助をなす國際委員會を設置し同委員會は日本側に右地域內に一切の武器携帶者を在住せしめざる事を誓ひ、日本側はこれに對し右地區が純粹に非戰鬪性を持續する限りこれを攻撃せざるべきことを約するものである、支那側も既にこの計畫に對し支持を表明し目下倫鴻鈞上海市長の正式調印を待つのみとなつた

無敵!!
農家よ、安んぜよ！
この農藥品の効果に日
國産
アルセニアット・デ・シユンボ（砒酸鉛）
は赤刷レッテル貼付の本社販賣品を……
◆第注文は五十キロ（一樽）以上
多量御購入の方には
特別の御相談に應じます
……本社出張員又……
は直接本社へ
工場 日本農藥株式會社
販賣所 日伯社營業部

チンタは
Pelikan
GÜNTHER WAGNER LTD.
日本人總代理店 日伯社

滋刺たる健康と美を創る
婦人藥の權威
中將湯
中將湯は世界の婦人の健康と美容へ進軍
中將湯
逆上頭痛 めまひ 足腰冷痛 ヒステリー 月經不順 下腹痛痛 こしけ 更年期障害 子宮病 産前産後
効能
代理店 サンパウロ州マリリア市 瀨木商店
本舗 東京市日本橋 株式會社 瀨村順天堂

市毛總領事を送る

旬日の中に市毛總領事が歸朝する、顧れば初代總領事松村貞雄氏この方何人もの總領事が、入れ替り立ち替り來たが、その間にあつて市毛氏は外務省官吏としては稀に見る人間の純な總領事であつた、それだけに口の利き方は頗る不調法、日本語外國語何れも切口上のギコチないものであつたから、初對面の者など誤解して腹を立てる者などもあつたが、それがあの人のクセだと解れば、誰も惡く思ふ者はない、矢張り純情の致すところだ

正直のところ、始めは彼氏でサンパウロの總領事が勤るかなと、大分あちこちで危ぶまれたものだが、心配する程のことはない結構やつてのけ大體に於て好印象を殘して歸るのはお手柄と云はざるを得ない、もとより此の難物のサンパウロに在勤して大過なきを得るには、相當勉强もし、氣苦勞もしたことであらうことは想像に難くないが、何よりも人間が正直で純なる所が此結果を來したものである、スポーツ外交、それもよかつた、何會彼會といろ〳〵會が出來て、それ〴〵擠がれたのもよかつた、而して歸る、全くよい時に歸るとお覩ひ申さざるを得ない

これは市毛總領事が本省に歸つて報告するかどうか知らぬが、サンパウロ總領事館の管轄する物の中に二つの痛がある、一は近い內に出來上らうと云ふ日本病院であり、その二は今年始から蓋を開けてゐる官製教育普及會である、兩方とも恐ろしく危險な癌で、惡くすると在留同胞の保護どころか、アベコベに命取りとならぬとも限らない、既にその症狀は十分ある、そのゴタゴタを見ないで歸るのは、瀨戸際情なやうだが全くよい時に歸る、市毛總領事運がいゝ

その代り後へ來る人は恐らく糞を摑むであらう、これはなにも市毛總領事のやつたことではないが、近ごろ領事館の下僚が寄つてたかつて在留邦人をコヂらせてしまつてゐるから只さへやり惡い所が益々以てイケなくなつてゐる、秘露でバルベイロをいぢつて日本人會設立に成功したからサンパウロでもと、餘りにサンパウロを安く踏んで掛るものだから、今では丁度アベコベに田舍者から笊小馬鹿にされてゐるから、これも市毛總領事の歸朝後報告しかねる所であらう

一店一社の場合でも部內の統制がとれて居なくては仕事はやれるものでない、ところは云へる、人間が正直で純でゴルフか競馬でもやつてノラクラ遊ぶことの出來る人であるが近頃の濠市總領事館は年寄カベヤも相當ながら猫滿點をしたとするロ吻が看取出來る差上げかねるのは、これが爲めである

そんな者は今の我外務省には居られもせぬけれど、サンパウロの總領事にはどんな人物が向くかを一寸と書いておかう、それは相當年齡のドツシリした人で、何も仕事をせず構、こう云ふ人物ならサンパウロに向くのだが、これは望む事務の人で、ひたすら事務に沒頭するからイケなかつた、そんなことは領事か副領事に任かしておいて澤山、只苦を嘗ふとともに、一路平安に、それは相當年齡のドツシリした所を十分押へ得れば結構、やつて貰ひたいものである

日本再招請有力化

【ブラッセル二日同盟】AP特派員シャーキーの報道によれば、ブラッセル會議參加の數ケ國代表の間には日本政府を再招請すべしとの意見が有力であると云はれる、シャーキー特派員の報道內容次の如し

數ケ國政府代表間にはブラッセル會議開會後間もなく日本に會議參加の再招請狀を發しては如何との意見が有力である、その理由とし

一、米國は九國條約を守るためブラッセル會議に出席するもので、右會議は極東問題に極限されるものと期待してゐたに拘らずこれを好機とし英國が歐洲問題に對しても米國をだしに使はうとするロ吻が看取出來る

以上二つの理由に基くもので

ては日支紛爭解決案に關する誠意なき自由な意見の交換は日本側が出席して始めて可能だといふにある、とれら代表は日本の再招請は友好的精神に出たものであることを强調し、日本政府が招請の性質をよく了解してくれることを希望してゐる、もしこの工作が進捗すれば米國代表も贊成すると信ぜられる

支那側の策動に米代表、釘を打つ

【ブラッセル一日同盟】九國會議は條約會議を三日に控え支那代表は頻りに策動を試みてゐるので、米國代表はこれを苦々しく思ひ支那代表の態度如何によつては會議が紛糾する脅れあるため支那代表部に對し

英の弱腰を懸念

ソ聯、英米側に期待薄

【モスコー一日同盟】九國條約會議出席のソヴエット代表リトビノフ外務人民委員一行は、モスコー出發に際し强硬分子の出席を强要し、モスコー出發に際し强硬分子の出席を强要し、モスコー出發に際し强硬分子の出席を强要し

珈琲政策改更か

業界の逼迫せるに鑑み 突如、三取引所立會停止 當局、徹底的對策を樹立か

サントス取引所立會停止に關する聖州々統領令并に聯邦大藏大臣の理由書によれば、今次立會停止は一に投機者流の暗躍による業界の不必要な恐慌を防ぐための期間は未定であるが、取引市場不介入を建前とした政府當局が敢て自ら立入るに至つたのを見ても事態が

如何に緊迫

せるかを想察するに足るものがある、今次の決意は彼の汎米珈琲會議の失敗即ちコロムビアが伯國の希望條件を受容れなかつたことに起因し、伯國としては最早や獨自の見解において獨自の方法を採る以外に方法はなくなつた譯であるが、當局が果して如何なる對策を採らうとするかは目下のところ全く不明の低落より考へ現行輸出稅四である、大體立會停止命令は十五ミルを

四分一程度

に引下げることによつてさへ知らなかつた程であるが、紐育市場における伯國品

とするのではないかと噂されてゐる

輸出稅の輕減は從來當業者間にその要を叫ばれてゐたところで若しこれが噂通り實現するものとすれば素より結構であるが、最後のドタン場まで行詰つた業界がこれだけで立直るものではなく更に根本的な珈琲院の廢止、その負債の國庫肩代り等これを機會に當局の決定的斷行を當業者は期待してをるようである

官民一致協力して 非常時祖國に奉公 坂根總領事の第一聲

市毛總領事の後任勅任總領事坂根準三氏は昨節祝賀式に望み、午後三時五十五分サントス發のコメツタ時リオ丸で五時三十八分ルス驛着、サントス港へ入港、南米駐劄領事その他大勢の出迎へを受けて領事館官邸へ到着、官邸に於ける明治節祝賀式に望み、午後三時五十五分サントス發のコメツタ時リオ丸で五時三十八分ルス驛着、サントス港へ入港、南米駐劄領事その他大勢の出迎へを受けて道ちに官邸に入つたが、坂根總領事は金機服鏡の濕顏に笑を滿えて左の如く語る

南米

は初めてゐ衞語も西班牙語も一つも解らず全くの白紙といふわけです、今度もリオ丸で移民さん達がブラジルに渡るといふので態々リオ丸を選んで乘船し、移民さん達と生活を共にしブラジル赴任の

第一課

を學んだとサンパウロでは一ケ年内みつちり勉强して官民一致協力で非常時祖國へ奉公し度いと思つてゐます

明治節

の佳き日に上陸第一歩を印すことは私にとつて非常に意義のあることです云々

異鄕に眠る 開拓の勇士の墓前に 眞心こめた兒童の花束

パラグワス市の共同墓地には數百の邦人の靈が眠つてゐるが、去る一、二日のお盆にこの共同墓地に參詣した人々は邦人の墓に誰れ彼れの差別なく白百合の造花の捧げられてゐるのを見て一驚これは誰れの心盡しだらうかと感謝してゐたが、これは同市自由學園の生徒さん達が先生と相談して

なほ同日同町から五キロの奥マルカツト植民地内に在住する鯛岡縣人加藤氏と隣家の中野氏夫妻三人同道で夜八時頃町から歩途二人組の半黑强盜に襲はれ勇敢に格鬪したが不幸にも敢北して持合せの小錢全部を强奪されて仕舞つた

同一日二ケ所の出來ごとにカラムル驛警察署でも目を白黑くさせて犯人を探索してゐるが指にかみついて指を一本食切つたが、敵もさるもの大力にまかせて大野氏をねじ伏せ上衣のポケットから十ミルばかりを毒つて逃走した

×　×

其の二

パラグワス市の共同墓地には數百の邦人の靈が眠つてゐるが、去る一、二日のお盆にこの共同墓地に參詣した人々は邦人の墓に誰れ彼れの差別なく白百合の造花の捧げられてゐるのを見て一驚これは誰れの心盡しだらうかと感謝してゐたが、これは同市自由學園の生徒さん達が先生と相談して

生徒さん達はボールを買ふために空瓶を持寄つてそれをお金に替へたもので、先生もこの兒童の床しい心にいたく感激してボールは先生方が買つて與へる事にしてそのお金で造花を買つたものである

因に同校生徒は遠くにも國防獻金として百五十ミルを領事館へ送り市毛總領事より褒美に書物を貰つたこともある

棉作熱の勃興で 聖州は依然白米移入 南大河、米移輸出增加

南大河州州産米の他州并に海外向移輸出高は逐年增加の傾向にあり、九三四年度は百六十八萬七千俵、九三五年度は二百一萬一千俵、九三六年度はアルゼンチン最も多くその外チリ、ウルグワヤ、ペルー等南米諸國に向けられ歐洲向としてはドイツ行きが最も多くその合計は九三六年度に於て二百十二萬八千俵に達してゐる

聖州が農業州でありながら依然その消費米を他州に仰いでゐるのは注目すべき現象で州内農家が棉作に熱中した本年の如きは更に增加をるものと見られる

▽南大河州米移輸出高

	他州向	外國向
九三四年	九四、四三三	六三、八三二
九三五年	三五、三九一	一、二三七、八八〇
九三六年	四三、五六一	一、二三三、〇九九
他州移出	聖州	
九三四年	六六、四七〇	一、二三七、八八〇
九三五年	八七、九七〇	一、二三三、〇九九
九三六年	一二三、二八七	一、二三七、八八〇

九月中の 母國輸入棉花 ヒカる伯國棉

印棉に次いで多量

【華府卅日】米國本年度棉花輸入額はその內譯は次の通り

印棉	一三萬五千、
米棉	二萬七千、
埃及棉	五千、
支那棉	二千俵、

なほ日本紡績の一九三七―三八年需要棉花は國內消費並に外國側注文の減退によつて前年度より劣るものと豫想されるが、それにも拘らず九月中の消費は三十四萬九千八百俵（四百封度俵）で今年の最高

女は魔もの 中年男の戀

パラグワヤ 女に迷ふ

ソロ線ビリグヤ驛供置さりにして十日、廿日と在住の小畑助作（假名）氏は本年二月愛妻を失つてから居續けしてゐるが、金の切目が縁の切目を恐れてその巧妙な口先で方々を借り倒して歩いてゐるが、最近ではどこへ行つても金策出來んので家に歸つていたけない子供が草に埋れた棉を摘んで生活してゐる僅かの金まで持出す始末に隣人達は子供が可愛想だと同情してゐる

上半期州貿易 國別では 日本は第四位

今年上半期聖州海外輸出狀況を見るに輸出額百二十四萬三百二十二コントに上り昨年同期より十二萬二千六百四十六コントを增加してゐる、これを主要輸出仕向地別に表示すれば左の通り。

國別	金額（コント）
北米	五九、〇四三、八三二
獨逸	二三、八五二、〇五六
英國	一〇、四六七、〇七三
日本	九、〇〇六、九九九
佛國	三、〇一六、二九九
和蘭	二、九四二、二九九

溫顏に笑を浮べ

市毛總領事の後任勅任總領事坂根準三氏は昨節祝賀式に望み、午後三時五十五分サントス發のコメツタ時リオ丸で五時三十八分ルス驛着、サントス港へ入港、南米駐劄領事その他大勢の出迎へを受けて領事館官邸へ到着、官邸に於ける明治節祝賀式に望み、午後三時五十五分サントス發のコメツタ時リオ丸で五時三十八分ルス驛着、サントス港へ入港、南米駐劄領事その他大勢の出迎へを受けて道ちに官邸に入つたが、坂根總領事は金機服鏡の濕顏に笑を滿えて左の如く語る

南米

は初めてゐ衞語も西班牙語も一つも解らず全くの白紙といふわけです、今度もリオ丸で移民さん達がブラジルに渡るといふので態々リオ丸を選んで乘船し、移民さん達と生活を共にしブラジル赴任の

第一課

を學んだとサンパウロでは一ケ年内みつちり勉强して官民一致協力で非常時祖國へ奉公し度いと思つてゐます

明治節

の佳き日に上陸第一歩を印すことは私にとつて非常に意義のあることです云々

平和鄕カラムルに 白晝强盜出沒 邦人の被害頻々

其の一

強盜殺人追劍等々……最近奥地はどこへ行つてもこれ等の血腥い事件ばかりであるが、大野氏は去卅日の午前九時八歳になる子供を連れて町へ買物に出て午後一時頃歸宅の途中町から半キロばかり離れた地に出て來た時、突然背後から大兵の半黑が飛びかゝり、ぐつと締め殺さんばかりに首を絞め切つてゐる、同譯よりも十四キロ奥のカエターノ植民地には邦人四十家族が入植してゐるが、同地在住愛知縣人

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 5.a-feira, 4 de Novembro de 1937 — Num. 1.246

Prosegue o avanço fulminante das forças imperiaes na frente de Shanghai

Travam-se violentos combates em varios pontos — Imminente a queda de Nansiang

Shanghai, 31 — Domei — O inimigo da frente central de Shanghai, procurando defender a todo custo a sua posição de Nansiang, resiste desesperadamente aos nossos ataques com cerca de 10 divisões, comprehendendo 100.000 homens.

As forças imperiaes atacam e avançam a passo firme, estando a columna... utilisando a artilharia, a cavalaria e a infantaria, as quaes vão tomando as primeiras posições inimigas, levantando o pavilhão nipponico, o que faz vibrar de intenso enthusiasmo todos os soldados nossos que combatem nessa frente. O animo das forças imperiaes é tal que já parece ter vencido o inimigo.

Chenju, 31 — Domei — A columna Michisiba pertencente á columna Adachi atacou as posições inimigas da bahia de Malu, com o auxilio de tanks, conseguin lo tomal-as, sem soffrer perda alguma, ás 16 horas. A mesma columna continua perseguindo grandes unidades inimigas, sendo esperado para muito breve a tomada de Nansiang.

Shanghai, 31 — Domei — A columna Fujita, de tanks, afim de proteger o avanço da columna Assawa, avançou acerca de 5 kilometros ao sul das posições inimigas de Nansiang, no meio de uma chuva copiosa e insistente, vencendo lamaçaes. Protegida por esta acção dos tanks, a columna Fujita realisou um audacioso movimento em frente ao inimigo, conseguindo penetrar rapidamente na retaguarda da posição inimiga visada.

A columna Horiuchi acompanhando a columna Fujita, atravessou o canal e desfechou uma tremenda carga a bayoneta, conseguindo dizimar as forças chinezas defensoras. Este combate foi, segundo consta, um dos mais violentos registrados na frente de Shanghai.

Shanghai, 31 — Domei — A columna Wachii que prosegue no seu corajoso avanço para capturar Nansiang, contornou o inimigo pela retaguarda. Desta maneira as forças chinezas que tinham avançado um pouco, foram cercadas e inteiramente destroçadas.

Nesta batalha as nossas forças acharam projectis contendo gazes toxicos usados pelos chinezes.

Grande desfile de «tanks» em commemoração á victoria de Shanghai

Tokio, 30 — Domei — Para festejar a significativa victoria na frente de Shanghai os nossos poderes publicos vão realizar no dia 14 de Novembro, um grande desfile de "tanks". O desfile sahirá da cidade de Tiba, dirigindo-se para Tokio. Isto porque no ataque de Tachang os "tanks" collaboraram de maneira efficiente para ganhar aquella victoria.

Donativo offerecido por um cidadão italiano

Tokio, 30 — Domei — O sr. G. Fassarolli, alto funccionario da Cia. Fiação Kanegafuchi de Kobe, de nacionalidade italiana, tendo que deixar o seu cargo para regressar á patria, recebeu como gratificação a quantia de 5.000 yens. Este cidadão italiano, commovido pelo elevado gesto da companhia, offereceu aos poderes publicos a quantia de 2.000 yens, dizendo: "O Japão e a Italia não estão alliados officialmente, mas quanto ao espirito o estão, e assim sendo offereço este dinheiro aos valorosos soldados nipponicos".

Chronica Epistolar do Nippon

A escassez do capital industrial

Proporcional ao augmento das actividades

(Especial para o NIPPAK)

Tokio, Agosto — O plano official de intensificação das capacidades industriaes em nosso paiz, concentralisado, principalmente, nas industrias armamentistas, tem trazido, nestes ultimos mezes, serias influencias de ordem financeira, dada a intensidade do emprego de capitaes novos ou em reforço. Segundo os dados fornecidos pelo Banco do Nippon, o total dos capitaes industriaes augmentados por varias formas durante o semestre terminado a 30 de julho p. findo foi de..... 1.840.000.000 yens (9.200.000 contos de reis), ou sejam pouco mais do dobro correspondente ao igual periodo de 1936. E' interessante notar, ainda, que a mór parte desses capitaes é representada por acções e quotas de sociedades, novas ou já existentes, sendo insignificante a parte reunida, por meio de debentures e outros titulos de divida. Nesse sentido, o semestre que findou com o mez de junho p. marcou "record".

A escassez dos numerarios verificados nestes ultimos mezes, deve, assim, ao augmento extraordinario das procuras de capitaes, manifestadas em virtude da prosperidade inflaccionaria das actividades industriaes. Como consequencia, a bolsa de titulos registrou um movimento inedito nas transacções de acções, ao passo que as de debentures e outros titulos de divida foram reduzidos completamente, tal a escassez dos numerarios deslocado para os negocios mais lucrativos. Este estado merece cuidado, pois, se as emprezas teem a necessidade premente de capitaes para a intensificação das suas actividades industriaes, e se satisfazem por meio de novas acções, ao em vez de debentures e outros titulos da divida social, o peso de responsabilidade sempre é maior em relação a estes. E nem se diga que por esse meio, tão oneroso á economia interna dos industriaes, seja possivel executar o plano intensivo de suas actividades, que ainda deve prosseguir no semestre em curso. A porta fechada ao levantamento dos emprestimos tão necessitados pelas emprezas industriaes, será o obstaculo difficilmente transponivel, emquanto perdurar esta situação inflacionaria, que é, sem mais nem menos, o proprio corpo e a alma desse obstaculo. Só um auxilio official, decisivo, poderá sanar esse mal.

A este estado de coisas não ficou indifferente, entretanto, o nosso governo, que na ultima dezena de junho p. findo, lançou mão de depositos existentes na Secção de Depositos, destacando uma somma de 30.000.000 yens que foi destinada para emprestimos, por intermedio do Banco de Desenvolvimento Industrial, que a distribuiu entre as emprezas que se propunham intensificar as suas actividades industriaes. Mas, uma somma tão insignificante não póde, como é facil de prever, solucionar um problema de tanta relevancia. Como gotta de agua em brasa, não conseguiu o governo cortar os atalhos abertos para os numerarios onerosos, muito menos executar o seu plano de intensificação industrial. As boecas eram tão numerosas para a ração tão magra. E' licito que o governo lance mão dos depositos populares com o intuito de neutralizar, ainda que em parte, a tendencia altista dos onus que pesam sobre os capitaes industriaes, em um momento como este. Mas de illicito poderá ser qualificado esse acto do governo, empregando os fundos provenientes de depositos populares no reforço de capitaes fixos. O governo espera que o reembolso dos numerarios ora distribuidos se fará muito breve assim que a situação anormal dos mercados de titulos recobrar o seu estado habitual. Na peior das hypotheses, assegura o governo, que transformará em consolidadas industriaes, a longo prazo.

Nos meios directamente interessados espera-se que o governo tratará de modificar o Regulamento da Secção de Depositos, na parte referente aos emprestimos, que fará por intermedio do Banco de Desenvolvimento Industrial e outros estabelecimentos de credito designados. Este é, pelo menos, a esperança dos industriaes que não conseguem levantar os fundos indispensaveis para reforço dos seus capitaes, sem recorrerem á emissão de novas acções e quotas, demasiadamente onerosas á sua economia privada. A condição "sine qua non" ahi está; e ao governo compete dar o destino que bem entender. Acreditamos, entretanto, que o governo não ficará com braços cruzados.

«A Inglaterra poz-se em opposição com todos»

Severas criticas do publicista Garvin á diplomacia ingleza

Informa de Londres a agencia Brasileira o seguinte:

Londres, 1 — O publicista britannico Garvin em editorial hontem publicado pelo "Observer", examinando a politica exterior britannica sobre a "crise diplomatica ingleza", affirma que a Inglaterra não havia conseguido nestes ultimos annos solucionar siquer um conflicto ou pelo menos aplainar difficuldades, tendo, ao contrario, conseguido provocar hostilidades em todos os casos por ella tratados.

"A Inglaterra — diz o articulista — poz-se em opposição com todos, sem lograr accordo com nenhum.

Desde o fiasco da Abyssinia, a diplomacia britannica, — prosegue o articulista, — conseguiu com a sua notoria habilidade minar a segurança e o prestigio da Inglaterra em extensão mais ampla do que o proprio exercito poderá restabelecer.

Desde ha cerca de tres seculos que não se registra na historia ingleza tão graves prejuizos para os interesses britannicos em todas as partes do mundo.

Emquanto se recusam ou se discutem as concessões que o bom senso indicaria fossem feitas á Allemanha no que diz respeito ás suas exigencias coloniaes, emquanto se nega a reconstrucção da Europa Central, põe-se em perigo os interesses britannicos no Extremo Oriente e no Mediterraneo", termina o editorial referido.

A conferencia de Bruxellas

Atmosphera de pouco enthusiasmo

A decisão do governo italiano em não enviar o conde Ciano causa decepção aos paizes conferencistas

Bruxellas, 31 — Domei — A conferencia das Nove Potencias será realizada no dia 3 proximo, O movimento entre os representantes das nações signatarias do pacto das Nove Potencias, intensifica-se. Não ha duvida que os "leaders" da citada reunião são os Estados Unidos, e a Inglaterra, encarregando-se a França de dirigir as outras nações que apoiam a Conferencia. Consta-se que a representação Americana declarou á agencia "U.P." que os Estados Unidos e a Inglaterra haviam feito troca de opiniões a proposito da cessação da lucta entre o Nippon e a China.

A attitude dos representantes das nações signatarias do pacto das Nove Potencias tem-se amenisado muito.

Se a conferencia chegar a um resultado satisfactorio, as terceiras potencias deixarão o caso ao cuidado do Japão e China, directamente interessados, os quaes realisarão uma conferencia num local que não Bruxellas, segundo a observação do correspondente especial da "United Press".

A decisão do governo italiano de não enviar o conde Ciano, como seu representante á conferencia causou decepção aos paizes relacionados com a mesma.

A data de hontem

festejada pelas japonezes

A Colonia japoneza festejou hontem condignamente a significativa data de commemoração ao natalicio de S. M. o Imperador Meiji. O Imperador Meiji foi um dos maiores do Imperio, contribuindo para a Civilisação nipponica, introduzindo a civilização occidental e dando liberdade ao culto religioso.

O consulado e as sociedades civis japonezas de S. Paulo commemoraram condignamente esta grande data,

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR — Masaaki Udihara
GERENTE — Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 0$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

有馬・青山・太繩 三醫學博士 創製
製法・日・英・米 加・墨蘭專賣特許

A-O

元疫免核結

結核恐るべし

青年を蝕む結核の暴威、正に悪るべし世は結核の治療よりも豫防免疫の時代なり
我が祖國にては軍人、學生官公業團へのA—O豫防注射數四十數万人も算す

各國に於ける結核死亡率
（人口一萬人に付）

	日本	英國	米國	獨乙	佛國
大正十四年（一九二五年）	一九・四	一〇・四	八・七	一〇・六	一二・九
昭和元年（一九二六年）	一八・七	九・六	八・七	九・八	一二・四
同 一二年（一九二七年）	一九・五	九・七	八・一	九・二	一一・四
同 二二年（一九二八年）	一九・二	九・二	七・九	八・八	一二・六
同 四年（一九二九年）	一九・七	九・六	七・五	八・七	一二・七
同 五年（一九三〇年）	一八・六	九・〇	七・二	八・七	一二・二
同 六年（一九三一年）	一八・六	八・九	六・八	七・九	一二・二
同 七年（一九三二年）	一八・〇	八・四	六・二	七・六	一三・九

年齢別結核死亡率
各年齢階級、昭和五年（人口一萬に付）

年齢	男	女	計
〇—四歳	三〇・六二	三五・四三	三三・七七
五—九歳	四・〇一	五・四四	四・八二
一〇—一四歳	二・六五	四・三〇	三・四八
一五—一九歳	三・一八	四・二五	三・七二
二〇—二四歳	三・〇二	三五・二四	三三・六四
二五—二九歳	三三・九四	三三・二四	三三・五九
三〇—三四歳	三三・六二	三三・九三	三三・七八
三五—三九歳	三三・九九	三三・六二	三三・七八
四〇—四四歳	三四・〇九	三四・二一	三四・一五
四五—四九歳	三五・一九	三三・九五	三四・五七
五〇—五四歳	三六・八三	三六・〇二	三六・四二
五五—五九歳	三七・九八	三七・一一	三七・五四
六〇—六四歳	三八・八二	三八・〇九	三八・四五
六五—六九歳	三九・八一	三九・〇二	三九・四一
七〇歳以上	四〇・八八	四〇・七四	四〇・七九
合計	一八・三六	一八・八七	一八・六二

A-O 海興
伯國總輸入元 原商會
R. Felippe d'Oliveira, 21 3º. — Teleph. 2-7697
Caixa Postal, 2012 — S. Paulo
地方取次販賣 日伯社營業部
Caixa Postal, 375 — S. Paulo

THEODOR WILLE & CIA LTDA.
Largo do Ouvidor, 2
Caixa Postal 94 - S. Paulo

肥料
レナニア・フオスフアート
アルセニアツト・デ・シユンボ
アルセニコ
スフアート・デ・コブレ
其他アラメ・ファルパ・アラメ・リーソ・ジンコ等
御用命は是非當店へ

愛煙家へ
煙草はRoyal印の紙で巻いてのんでこそアルコール二種のブランコとのんでこそ良質のリーフの香付けたばこになつたのと各煙草店にあります
お買ひ求めはRoyal印を……
Distribuidor : Evaristo S. Taborda
Av. Martim Burchar, 39 S. Paulo
御申込次第見本進呈

社告
右各出張員を出張致させて居ります、諸賢の御配慮を願上ます
日伯社營業部

Ao Esporte Nacional
Rua São Bento 256
Caixa Postal 2446
SÃO PAULO
運動具なら一切取揃へて居ります
安くて良い買ひ物はエスポルテ・ナシオナール
日本人部

皆様の
福屋旅館
聖市オリンダ・オルセダ街二九番地
稲井伊平
電話二—七三〇八

實費分譲
婦人病、胃腸病、皮膚病
溫泉エキス分譲す
説明書送る 奥市郵便局四二一八
小田鑛一郎

御用盜異變

（維新史話）

武崎伸平（北宮三郎著）

（十一）

葛飾ぐづれ

（九）

天下の風雲は、いよ〳〵急であつた、藏長を中心とする勤王派、幕府を擁する會津、桑名等の佐幕派、日本全土が劃然と二分されて來た、薩摩に大久保在つて英吉利資本と結べば、幕府も亦小栗上野介在つて、フランス資本を仰ぎ軍備は全くといつて、この兩派の大衝突は、もはや時間の問題と迄切迫してゐた、鎖旗を挙じる勤王志士等の手に王政復古の大成なるか、徳川三百年の覇府が、今後も依然として日本を支配しつゞけるか、光が闇を滅るか、闇が光を掩ひつくすか、江戸に、京語する牧田惣平を輕くいなして「討死の覺悟は解つたが、それでどうしやうといふのだ」

「一死たゞ將軍家三百年の厚恩に報ひ、屍を異境の土に曝さんとする我等の決意、ならば今生の思ひ出に、江戸の見納めとして、一夕の酒宴がしたいものと存じ……就ては……一同、生憎嚢中の乏しきまゝ、かくの如く打ち揃つて、何分の恩借をお願ひに推參したわけでござる」

牧田惣平、とう〳〵本音を吐いた

「フフン、酒宴がしたいといふのか」

「左樣でござる」

「何卒今生の思ひ出に……」

「解つた」

組父江は大きくうなづいて立つて行つたが、すぐ客間に歸つて來ると、一同の前に、チリンと音をさせて

「それ會費」

「はつ」

「これが二次會費」

「はつ」

「これが揚代！」

「はつ！」

一同は、恐悦至極の態である

「外に用はないのだな？」

「はつ……」

馬田勇治が、貰つた金を納めながら

「上洛の日どりを、おさし支へなくば、承はりたいもので……」

椅田横合ひから

「それに、鐵砲でござるが——拵者等折入つて御願ひがござる」

「上洛の日どりは、年末までには確定するが、まづ……來春正月上旬——遲くも正月中には發足とならう、して、椅田、鐵砲とは？」

「それがその……」

言ひ濁る椅田重俊に代つて蒔田金之助が頭を掻きながら

「酒代に窮し、實は、八人共七つ屋へ」

「馬鹿つ！」

「あ、あしからず！」

幕府は、その、代表的な精鋭の歩兵隊士ですら、こんなに軍規が頽廢してゐたのである

【】

【】